

## 小委員会の調査報告書

教科名	音 楽	委員長名 塩 原 千 夏
調査研究の経過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を6月13日(火)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、音楽科小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 6月14日(水)から7月11日(火)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月12日(水)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、教育出版、教育芸術社の2者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取り扱い内容・内容の構成・配列」について</p> <p>(2) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(3) 「その他」について</p>	
調査研究に当たった際の配慮事項	<p>1 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>(3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>2 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>3 「その他」について</p> <p>上記1、2に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
少数意見その他		

様式 2

教科名		音 楽				
	出版社名	教科書名	番 号	出版社名	教科書名	番 号
	教出	小学音楽 音楽のおくりもの	音楽・103 音楽・203 音楽・303 音楽・403 音楽・503 音楽・603	教芸	小学生の音楽	音楽・104 音楽・204 音楽・304 音楽・404 音楽・504 音楽・604
取 扱 内 容 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○音楽的な見方・考え方を働かせて、見通しをもって学習できるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のめあてが明確に示されている。</li> <li>・共通事項が明示されている。</li> <li>・学びのプロセスが示されている。</li> <li>・各題材の学習内容が説明されている。</li> </ul> <p>○わらべ歌を掲載するなど、伝統と文化を尊重する心を育む郷土の音楽を取り扱っている。</p> <p>○共通教材をはじめ歌い継いでいきたい我が国の歌と、自然・四季や暮らしとの関わりがわかる美しい大型写真を掲載し、想像力や感性を生かした学びができるよう工夫されている。</p> <p>○「音楽の見方・考え方を働かせながら資質・能力を育む」教材、「他教科と音楽との関わりを扱う」教材、「主体的・協働的に表現を楽しむ」教材が、バランスよく主要部分に構成・排列されている。</p> <p>○リコーダーの導入では、「まなびリンク」を活用し、個別最適な学びを支える工夫をしている。</p> <p>○音楽づくりでは、文字や活動例を適切に示しながら、自分なりの考えを引き出すようしなやかになっている。</p> <p>○「学び合う音楽」で、学び方を例示し、主体的・対話的な深い学びができるよう工夫されている。</p>			<p>○1年間の見通しをもって自発的に学習できるように工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターの吹き出しで、学習のめあてやヒントが明示されている。</li> <li>・学習活動を「思考力・判断力・表現力」「知識」「技能」の資質・能力に対応するように構成し、アイコンで分かりやすく活動を示している。</li> <li>・身の回りの事象を教材化したり、体験型の鑑賞学習を取り入れたりしている。</li> </ul> <p>○郷土に伝わる音楽を身近に感じながら鑑賞できるよう、各地域に伝わる音楽を取り上げている。</p> <p>○体の動きを伴った活動を通して楽しみながら音楽を感じ取り、それを友達と共有することで自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにしている。</p> <p>○一人一人が感じ取った音楽の良さを、自分の言葉で語ったり表現したりすることができるような構成になっている。</p> <p>○学習をスムーズに進められるよう題材及び教材が排列されている。</p> <p>○音楽づくりの教材では、デジタルコンテンツを使用することができ、学習がスムーズに行えるようになっている。</p> <p>○SDGsにつながる視点、著作権や様々な音楽についての資料があり、生活と社会と音楽とが関わる内容が組み込まれている。</p>		
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」として題材ごとに掲載し、巻末には「音楽のもと」まとめの頁もあり、確認・活用しやすくなっている。</p> <p>○表現や活動の参考となる写真やイラストが多数掲載されている。</p> <p>○紙面上の二次元コードから、音声や動画、写真、ワークシートなどデジタルコンテンツを活用することができるよう配慮されている。</p> <p>○地域や学校ごとのカリキュラムに対応できるよう選択可能なオプション、短時間学習できる題材、教科横断的に扱える教材が掲載されている。</p>			<p>○共通事項に示された音楽を形づくっている要素をページ端に表示し、「振り返りのページ」でも一覧できるように工夫されている。</p> <p>○文字が見やすくすっきりとまとめ、学びやすさに配慮されている。</p> <p>○紙面上の二次元コードからURLを読み取ることによって、学習をサポートするコンテンツを活用できるように配慮されている。</p> <p>○鑑賞をサポートする楽器やオーケストラ、合唱などの写真が大きく見やすくなっている。</p>		
そ の 他	<p>○すべての人にとっての学びを保証するユニバーサルデザインの視点で編集されている。</p>			<p>○すべての人に見やすくわかりやすい紙面となるよう、楽譜や文字の配置や見せ方の工夫をしている。</p>		